

新規受託及び受託中止のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また医療の進歩に寄与すべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、このたび、染色型別報告が可能となる抗核抗体半定量の受託を開始することになりました。ご利用のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

■ 受託開始日 2020年 1月 6日(月) 受付分より

■ 新規受託項目 抗核抗体半定量

■ 検査要項

項目コード	検査項目	検体必要量	容器保存方法	検査方法	基準値	所要日数	実施料判断料	備考
5130 ※1	抗核抗体半定量 (ANA)	血清 0.3 mL	A1-1 冷蔵	蛍光抗体法 (FA法)	40倍 未満 (-) ※2、3	2~4日	105 免疫	*イ

検査場所: 保健科学 第3ラボラトリー(略号: *イ)

※1 項目コード体系については、裏面をご参照下さい。

※2 報告対象の染色型(染色型ごとに結果をご報告いたします)

抗核抗体 FA、HOMOGENEOUS、SPECKLED、NUCLEOLAR、PERIPHERAL、CENTROMERE、
GRANULAR、核膜型、細胞周期関連型、CYTOPLASM

※3 染色型ごとの報告形式は、裏面の項目コード体系表をご参照ください。

■ 受託中止項目 今回の新規項目受託開始に伴い、下記項目を受託中止とさせていただきます。

項目コード	検査項目	備考	検査案内
3608	抗核抗体半定量(ANA)	・2020年1月4日(土)ご依頼分をもって受託中止。 ・上記新規項目受託開始に伴う受託中止。	P63
3601	抗核抗体定性		未掲載

▼ 新規項目の項目コード体系とご報告内容

項目コード		項目名称	報告内容
依頼用	5130	抗核抗体半定量	
報告用	5131	抗核抗体 FA	現行と同じく、各染色型の結果のうち、最大の最終判定希釈倍数をご報告いたします。 染色型ごとに、最終判定希釈倍数をご報告いたします。 (40倍未満、40倍、80倍、160倍…)
	5132	HOMOGENEOUS	
	5133	SPECKLED	
	5134	NUCLEOLAR	
	5135	PERIPHERAL	
	5136	CENTROMERE	
	5137	GRANULAR	
	5138	核膜型	
	5139	細胞周期関連型	
	5140	CYTOPLASM	

例) HOMOGENEOUS:80 倍、CENTROMERE:320 倍 の場合の報告結果

染色型	報告値(倍)
抗核抗体 FA	320
HOMOGENEOUS	80
SPECKLED	40 未満
NUCLEOLAR	40 未満
PERIPHERAL	40 未満
CENTROMERE	320
GRANULAR	40 未満
核膜型	40 未満
細胞周期関連型	40 未満
CYTOPLASM	(-)

▼ 新規項目の検査内容補足

抗核抗体検査は、膠原病や自己免疫性肝炎などの自己免疫疾患の診断や病態把握等において重要な検査です。

HEp-2細胞を核材として用いた蛍光抗体法は、抗核抗体のスクリーニング検査法として広く活用されていますが、この方法は、高感度で細胞の染色型より対応抗原の推定も可能ですが、健常者での陽性率が高いことや、使用する蛍光顕微鏡の性能などにより施設間差が問題となっています。

本法に使用している核材HEp20-10細胞はHEp-2 細胞から作製されていますが、HEp-2細胞と比較し、分裂期細胞が約10倍多く含まれているため、染色型の判定が容易となる特徴を持ちます。

本法は蛍光抗体法により抗体を反応させたバイオチップスライド上の細胞を、全自動で投影し、蛍光像から染色型および抗体価を求めますが、陽性像に関しては改めて目視判定を実施し最終結果とします。